

第49回 ハイキングクラブ開催報告

「東漸寺のしだれ桜」と常盤平「さくら通り」を歩く

当番世話人 川股賢三

2月16日開催された第48回ハイキング「亀戸七福神巡り」で北十間川沿いの浅草通りに亀戸の梅屋敷の名残である紅梅が街路樹として残されており、この紅梅の満開を見て、次は桜並木を見たいとの声があった。

25年度の当番世話人が代表世話人から私の他3人が指名された。先のお話を思い出しながら、急ぎ、桜並木のある日本の道100選のひとつ「常盤平さくら通り」を散策することとした。

ハイキングとしては余りにも歩行距離が短いので、千葉県東葛地区の北小金駅近くにある有名な「しだれ桜の東漸寺」を加えた。

本来ハイキングクラブ各年度第1回例会は5月開催であるが、今回は桜の開花に合わせての開催とした。急遽、2月20日に桜の開花に合わせて開催を決定したものの、今年の桜の開花日は不明であり、この時点でインターネットの開花予想を検索すると東京の桜の開花は3月25日、東京都内との開花のズレは2・3日が例年であり、予測では3分か4分咲きで少し早いかなと思いつつ、まだ働いている会員を考慮して3月31日(日)を開催日とした。また、「しだれ桜」は「染井ヨシノ」より開花が早いので満開に近い状態と予測をした。

その後、桜の開花予想が早まり最終的に東京の開花が17日となり、気がかりなので「さくら通り」を確認に行くとならぬうちに、ピンクががった蕾で安心をした。20日に東京の桜は満開との報道、再度確認に行くとならぬうちに4分咲きで、開催日には葉桜を覚悟したが、その翌日から花冷えの低温が続き、辛うじて31日は残花のさくらが見られた。

事前調査による本日散策地の資料を整理すると次のようになります。

小金宿

北小金駅の前の通りは旧水戸街道で四番目の小金宿(千住宿⇒新宿宿⇒松戸宿⇒小金宿)のメインロード、現在も玉屋(小金宿場の旅籠)、お経が聞こえない普化宗金竜山一月寺(虚無僧の寺)が現存している。

東漸寺

東漸寺は江戸初期に関東十八檀林(僧侶の養成機関・学問所)の一つとされた名刹です。古刹とは云え、明治の廃仏毀釈等で神殿、開山堂、正定院、浄嘉院、鎮守院などの堂宇を失ってしまいました。また、幕末以降の経済基盤となっていた広大な寺有田(現在の新松戸周辺)は、第2次大戦後の農地解放で失い、境内もかなり荒廃していました。しかしながら、歴代住職の尽力により、関東屈指の多数の文化財ならび檀林の面影を伝えてくれている境内の古木や巨木が昔のまま保存され伝えられている。

常盤平さくら通り

新京成八柱駅の近くから常盤平駅前をへて五香駅付近まで、新京成線に並行している約3.1Kmわたる2車線道路の歩道に植えられた並木。

桜の種類は八柱駅側が「大島桜」、常盤平方面に向かっていくと「染井ヨシノ」である。ふたつの種類の桜を合わせると、桜の本数は、およそ625本である(平成22年度現在)。

1987年に「日本の道100選」に選定された。4月上旬の開花時には、「さくら祭り」が開かれ、関東近県から約50万人の人出がある。「さくら祭り」の際には、さくら通りの全域で自動車交通が遮断され、露店が出て家族連れなどで大変にぎわう。

常盤平駅南口の駅前で「常盤平さくら通り(日本の道100選)」と「常盤平けやき通り(新・日本街路樹百景)」が、交差しており、希にみる景観となっている。(松戸市観光案内より)

常盤平けやき通り

「けやき通り」は常盤平駅から徒歩1Km先の子和清水(こわしみず)まで常盤平団地の中央を通るメインストリートです。「新・日本街路樹百景」は、読売新聞創刊120年を記念した企画で全国から集ま

った470景(各都道府県ごとに10景を選定)の中から選ばれたものです。昭和36年、当時、田畑や林しかなかった常盤平に、大規模な公団住宅・常盤平団地が完成し、その中央を貫くメインストリートにケヤキが植えられました。雄大な樹形の美しさは、見る人の心を和らげ街並みに風格をもたらしています。

子和清水

むかし、この近くに酒好きな老人が住んでいた。貧しい暮らしなのに、外から帰るときには、酒に酔っている。息子がいぶかって父のあとをつけてみると、こんこんと湧き出る泉を手ですくって、さもうまそうに「ああ、うまい酒だ」と言って飲んでた。父の去ったあと子が飲んでみると、ただの清水であった。この話を聞いた人々が「親は古酒、子は清水」というようになった。各地にある子和清水、古和清水などはこうした伝説による泉です。(現地案内板)



八柱側にある表示



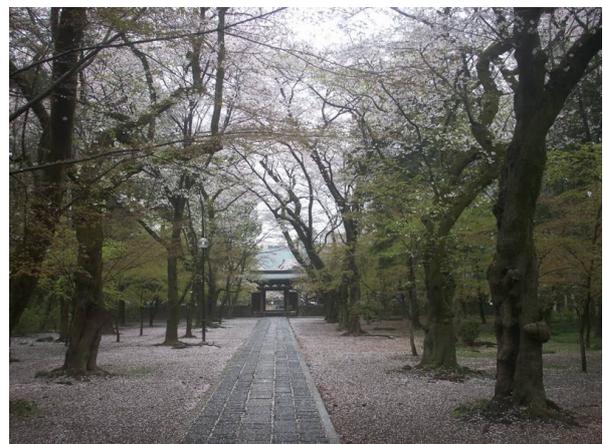
子和清水

例会開催日3月31日(日)朝方は小雨模様であったが集合時刻には曇りとなった。、JR常磐線北小金駅に10時30分に19名が集合し、桜見物をスタートする。

北小金駅から旧水戸街道を南へ400m歩いて小金宿に残る浄土宗東漸寺へ向かう。この古刹は関東十八檀林(僧侶の養成機関・学問所)の一つである。境内には樹齢300年の「しだれ桜」あり、山門から参道に咲く「染井ヨシノ」を眺めつつ本堂にお参り、本堂前の立派な「しだれ桜」を見物する。しだれ桜は「染井ヨシノ」より開花が早いといわれているが、もはや満開を過ぎ花卉舞う「しだれ桜」を楽しんだ。引き続き、山門を出て右に200mある小金宿に残る玉屋(江戸時代の旅籠)の外観を見学した。



東漸寺山門



東漸寺の中庭の染井ヨシノ



東漸寺の樹齢300年のしだれ桜



玉屋の外観

当初はここから5Km歩いて日本の道100選のひとつ「さくら通り」へ向かう予定であったが、ハイキングクラブ会員にも高齢化が進み、北小金駅に戻り、電車で新八柱駅に移動、駅を出て左側100mで「さくら通り」に入る。



さくら通り（五香側から）



さくら通りを散策するグループ

「さくら通り」は資料で説明の通り、新京成線に並行している約3.1Kmわたる2車線道路の歩道に植えられた並木路。線路に沿ってと云えば直線の道を予想されますが、新京成線は旧日本陸軍の鉄道連隊(クワイ河のマーチで有名な泰緬鉄道を敷設した部隊)が演習用に敷設した線路を活用した鉄道用線路で曲線部分が多い。八柱駅から五香駅までも大きな曲線の電車用路線である。

桜の種類は八柱駅側が満開の「大島桜」、五香方面に向かって行くと散り始めた「染井ヨシノ」である。2つの種類の桜を合わせると、桜の本数は640本余り(625本の資料もある)である。さくらを眺めながらのんびりと散策し、約1Km歩いて常盤平駅近くで「しょうぶ公園」を通り抜け、新・日本街路樹百景のひとつ「けやき通り」へ向かう。

けやきは新芽が芽吹き始めでる時期で、残念ながら真夏の緑々した葉による木陰や秋の紅葉は見られなかった。参考に夏と秋の「けやき通り」写真を次葉に掲載しておきます。

常盤平駅にもどり、昼食休憩を約1時間とり、各自近くの食事処に分かれて昼食をとる。13時15分に再集合した。この時点で木頃さんと岩崎さんが所用で早退し、後に残った17名が2Km先の五香駅に向かって桜並木をのんびりと花を愛でながら散策した。

歩行不足気味の会員には五香駅から東武野田線六実駅(2.5Km)へウォーキングを推薦し、地図つきで五香駅から2Km歩いた所に「六実の桜並木」があることを案内して14時に解散する。



新緑のケヤキ通り



紅葉するケヤキ通り

その後、恒例の反省会を青木さん、遠藤さん、蓮田さん、明星さんを除いた13名で駅前の「珍来五香店」で開催した。25年度の寿会千葉支部の進め方、健康、天候など様々な話題でいつ時をワイワイと騒ぎながら過ごした。今日一日は櫻花と紹興酒に酔った有意義な一日となった。雨にたたられることなく無事にハイキングと反省会の総てが終了した。

最後に五香駅・六実駅・八柱駅と数字の地名が多く出てきましたが、これらの地名は明治になって、徳川幕府の牧を開墾した時につけられた地名で、1番目の開墾地は鎌ヶ谷市の初富(はつとみ)で成田市の十余三(とよみつ)までの13カ所に開墾順つけられている。松戸市の五香(ごこう)・六実(むつみ)は五番目と六番目に開墾地です。八柱は八番目の開墾地と考えがちであるが、この地名は古くからの名称で開墾八番目は八街市の八街(やちまた)とのことです。

(本日の参加者・アイウエオ順 敬称略) 19名

青木 登、岩崎正憲、岩田芳秀、宇田川修侅、遠藤哲也、小澤敏宣、木頃勝紀、白岩仙一、住田勝治、中島公一、西長義方、野田 佑、蓮田周男、花岡秀男、古屋榮三、牧田賢二、明星好光、六角 学、川股賢三

欠席者と近況

石川哲巳=記載なし。

川島省三=地域のサークル活動のイベントと重なり欠席します。

芹川時雄=野菜作りに励んでいます。

中川哲夫=1月中旬より体調を崩し、外出は無理になりました。

榎本哲夫=28日に奥さんが入院し、急遽欠席した。

以下の集合写真とスナップ写真は六角さん提供



前列左から明星好光、木頃勝紀、住田勝治、西長義方、岩崎正憲、牧田賢二、宇田川修祐の7名
後列左から六角 学、青木 登、白岩仙一、小澤敏宣、川股賢三、古屋榮三、野田 佑、岩田芳秀、
蓮田周男、花岡秀男、遠藤哲也、中島公一の12名
参加者計19名（敬称略）

* 常磐線北小金駅で、当番世話人よりコースの案内



・旧水戸街道の説明





*見事な桜花爛漫の「さくら道」

お問い合わせ:常盤平さくらまつり実行委員会 TEL 090-4220-5620

平成二十五年
四月六日(土)・七日(日)

第42回 常盤平さくらまつり
松戸市制施行70周年記念

桜いっぱい!!
楽しさいっぱい!!

美しくライトアップされた
桜もお見逃しな!!

地元の中学堂が
ごみ集めをする!!

会場MAP

主催:第42回常盤平さくらまつり実行委員会

常盤平さくらまつり実行委員会
〒127-0033 千葉県松戸市常盤平1-4-1
TEL 090-4220-5620



* 旧水戸街道（小金宿の旅籠）「玉屋」



* ちょっと一休み



* 旧家の門構え

